

# 関係者別の成果のハイライト

COVID-19 パンデミックにおける医療従事者の適切な保護と医療リソースの適正化

 <b>患者</b>	<b>患者満足度の改善</b>	6カ所の新しい検体採取施設が設置され、従業員とその家族による検査へのアクセスが改善されました。自宅までの集荷やドライブスルーサービスを容易にするため、最も混雑している2カ所の採取施設は、検査施設から1.2マイル以内に置かれました。これらの戦略的採取施設の設置により、COVID パンデミックのピーク時には3500を超える検査が実施できました。
	<b>認識の向上</b>	1,881人のスタッフがCOVID-19の状態を把握し、807人の家族がCOVID-19の状態を把握できました。
 <b>臨床医</b>	<b>信頼性の向上</b>	「検査結果の81%は6時間以内、19%は12時間以内に発表されたため、症状管理、前兆、隔離手順に関するガイダンスを大半の従業員に対して早めに提供でき、それによって仕事現場や家族内での感染が抑えられました。その結果、検査陽性であった全ての医療従事者において、重篤症例数（確定例1959例中入院患者は16例）および死亡率（確定例1959例中死亡が2例）は最小限に抑えることができました。」 <b>- Josho é Augusto do Amaral Rocha、総合診療医、CQCプログラム（AFIP）</b>
	<b>医療資源利用の強化</b>	AI（人工知能）による分析予測データにより、COVID-19の様々な感染拡大期の中でも、フルタイム従業員1名分に相当する余剰人員を創出することが可能となりました。
 <b>医療制度 / 病院経営</b>	<b>リスクの軽減</b>	「医療従事者とその家族に対して検査を実施することで、COVID-19感染有無を把握し、感染拡大予防と医療費抑制のための計画を進めることができました」 <b>- Debora Ribeiro Ramadan, the Operational Technical Nucleus 所長（AFIP）</b>